

【 解説 】

アルファベットが 1 文字ずつ暗号化されているが、その暗号に使用されている文字が「上・中・下」の 3 種類だけなので、3 進法が関連しているのではないかと予想される。
そこで、「上・中・下」を「0・1・2」に置き換えることを考える。

近接している部分に注目すると、「C」→「D」で桁上がりが起きていることがわかり、対応は次表のようになる。

平文	暗号	⇔	3進法	10進法	対応
A	上上上		0 0 0	0	「上」⇔「0」 「中」⇔「1」 「下」⇔「2」
B	上上中		0 0 1	1	
C	上上下下		0 0 2	2	
D	上中上		0 1 0	3	
:	:		:	:	
L	中上下		1 0 2	1 1	不要だとは思いますが、「L」「N」「U」「W」についても確認してみた。
:	:		:	:	
N	中中中		1 1 1	1 3	
:	:		:	:	
U	下上下下		2 0 2	2 0	
:	:		:	:	
W	下中中		2 1 1	2 2	

10 進法の数と平文のアルファベットを表にまとめると、

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z

この法則によると、

「下上上, 上下中, 中中下, 中下上」

→3進法「2 0 0, 0 2 1, 1 1 2, 1 2 0」

→10進法「18, 7, 14, 15」

→前表の赤文字部分「SHOP」。